

環境アセスメント学会

2014年度 第13回大会プログラム

日程 2014年9月20日（土）21日（日）
会場 千葉大学西千葉キャンパス総合校舎

（大会スケジュール・プログラム概要）

大会1日目（9月20日，土曜日）

午前	9:30 大会受付開始（総合校舎D号館1階） （ポスター発表者は9:30-9:50に総合校舎B号館外のポスター会場の指定場所に掲示）	
	10:00-11:20 研究報告セッション1（総合校舎D号館21教室） ○技術（1） 生態系 4件	研究報告セッション2（総合校舎D号館22教室） ○制度（1） 事前手続・国際 4件
	11:20-12:50 ポスターセッション（総合校舎B号館外 ポスター会場）	
午後	12:00- 昼食（理事会 総合校舎D号館23教室）	
	12:50-13:00 開会式（総合校舎B号館） 開会挨拶 柳 憲一郎（環境アセスメント学会会長・明治大学法科大学院教授）	
	13:00-15:00 企画委員会主催シンポジウム（総合校舎B号館） テーマ：「化石エネルギーの有効活用と環境アセスメントとの関わり」 【基調講演】「環境負荷低減技術の現状と将来展望」森崎隆善（電気事業連合会） 【報告・パネルディスカッション】「環境アセスメントの関わり方」 (1) 「環境コンサルタントの立場から」宮下一明（東京久栄） (2) 「PM2.5の予測手法の開発状況」菅田誠治（国立環境研究所） (3) 「CO ₂ の環境影響評価」伊藤隆晃（環境省環境影響評価課） (4) 「学識経験者の観点から」吉門洋（日本気象協会） 基調講演、報告を受けて、化石エネルギーの有効利用と環境アセスメントの関わり方を議論する。 (休憩10分)	
	15:10-16:35 大会実行委員会主催シンポジウム（総合校舎B号館） テーマ：「再生可能エネルギーと環境アセスメント」 【趣旨説明】 倉阪秀史（大会実行委員長・千葉大学大学院人文社会科学研究科教授） 【報告】 報告1「風力発電所の環境アセスメントの課題」齊藤哲夫（一般社団法人日本風力発電協会） 報告2「地熱発電所の環境アセスメントの課題」鈴木聡司（日本エヌ・ユー・エス(株)） 報告3「環境省浮体式洋上風力発電実証事業の環境影響評価の取り組み」杉岡伸一（芙蓉海洋開発(株)） 【パネルディスカッション】 コーディネーター：倉阪秀史 パネリスト：齊藤哲夫、鈴木聡司、杉岡伸一、原科幸彦（千葉商科大学教授）、神谷洋一（環境省環境影響審査室長）	
	16:35-17:15 奨励賞受賞者の講演および優秀ポスター賞授賞式（総合校舎B号館） 「大規模開発事業の環境影響評価ならびにスマールアセスによるコミュニケーションの実践」松島正興（株式会社三菱地所設計） 「沿岸海域の環境影響評価・生息地適正評価に関する研究」長谷川一幸（公益財団法人海洋生物環境研究所）	
	17:30-19:15 懇親会（4,000円）（けやき会館レストランコルザ）	

大会2日目(9月21日, 日曜日)

午前	9:00 大会受付開始 (総合校舎D号館1階)		
	9:40-11:00 研究報告セッション3 (総合校舎D号館21教室) ○技術(2) 生態系サービス評価 4件	研究報告セッション4 (総合校舎D号館22教室) ○制度(2) 自治体 4件	
	(休憩 10分)		
	11:10-12:30 研究報告セッション5 (総合校舎D号館21教室) ○技術(3) 評価技術 4件	研究報告セッション6 (総合校舎D号館22教室) ○制度(3) その他制度 3件	研究報告セッション7 (総合校舎D号館23教室) ○事例研究 3件
午後	12:30- 昼食 (ポスター発表者は13:00までにポスターを撤収)		
	13:30-15:30 エクスカーション見学会(資料代1000円) (人文社会科学系総合研究棟2階マルチメディア会議室) 「千葉大学における学生主体の環境エネルギーマネジメント」 千葉大学では、2004年度から、学生主体で大学の環境マネジメントシステムを運営してきました。主要4キャンパスの全てで、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証取得を行い、昨年12月には、全国の大学で初めて、エネルギーマネジメントシステムの国際規格ISO50001の認証を取得しました。運営主体となる「千葉大学環境ISO学生委員会」は、2009年にNPO法人格を取得し、理事長以下全ての役員が学生であるNPO法人として活動を行っています。		
	13:30-14:30 NPO法人千葉大学環境ISO学生委員会から説明+質疑応答		
	14:30-15:30 学内の主要活動場所の見学		

(プログラム詳細) 注: ⊕は学生会員・院生による発表。○は報告者。肩書きは報告者のみ。

研究報告

大会1日目(9月20日(土))

第一会場 総合校舎D号館21教室

研究報告セッション1「技術(1)生態系」座長: 林希一郎(座長補佐: 矢代幸太郎)

1	10:00-10:20	「広域版生物多様性ポテンシャルマップ(BDPマップ)整備の技術と実態」○西澤まり((社)日本環境アセスメント協会)、矢代幸太郎、新井聖司、小田信治、犬飼博信、千田庸哉、西澤正、松岡明彦、堀吉博、横田樹広、吉沢清晴、青島正和、中武禎典、野寄弘道、榎田健三郎、相澤郁
2	10:20-10:40	「大阪湾阪南2区人工干潟におけるヨシの生育について」○杉本匡章(大阪市立大学⊕)、遠藤徹、矢持進
3	10:40-11:00	「ソウベツ川支流における希少種ニホンザリガニ <i>Cambaroides japonicus</i> の生息環境要因の分析」○相澤あゆみ(酪農学園大学⊕)、吉田剛司
4	11:00-11:20	「交通騒音が与える野生生物生息環境及び生態系への影響に関する研究」○相野田幸司(東京都市大学⊕)

第二会場 総合校舎D号館22教室

研究報告セッション2「制度(1)事前手続・国際」座長: 片谷教孝(座長補佐: 柴田裕希)

1	10:00-10:20	「戦略的環境アセスメント段階における生物多様性オフセットの検討に関する研究—カリフォルニア州高速鉄道を例にとって—」○小島雅史(東京都市大学⊕)、田中章
2	10:20-10:40	「配慮書作成時における課題と留意事項について(線の事業と面的事業における配慮書ケーススタディの実施)」○田中亨((社)日本環境アセスメント協会)、沖山文敏、松島正興、山岸丈二、長田篤佳、彦坂洋信、峠祐介
3	10:40-11:00	「国際機関の環境社会配慮に見るJICA環境社会配慮ガイドラインへのインプリケーション—世界銀行の取り組みを中心として—」○大野慧((株)国際開発センター)、林田貴範、二宮浩輔、長田千絵美、古松正博
4	11:00-11:20	「森林減少の影響への地域住民の認識の違いをもたらす要因の解明:カンボジアの森林減少とその薪炭材への影響の事例研究」○江原誠(九州大学⊕)、百村帝彦、野村久子、松浦俊也

大会 2日目 (9月21日 (日))

第一会場 総合校舎D号館教室21教室

研究報告セッション3「技術(2)生態系サービス評価」座長：田中章(座長補佐：伊東英幸)

1	9:40-10:00	「GISとモデルによる生物多様性・生態系サービスの広域評価：オフセットのスクリーニング段階の評価手法としての活用」○大場真(独)国立環境研究所)、アンビカ・ダカール、林希一郎
2	10:00-10:20	「オンサイトスケールの生物多様性評価手法の検討ー名古屋市都市森林を対象としたHSI、HH、BBと森林環境指標による比較評価」○伊東英幸(日本大学)、林希一郎、長谷川泰洋、大場真
3	10:20-10:40	「生物多様性オフセット・バンキングにおける総合評価手法の基礎的検討：主観的価値ウエイトの活用」○林希一郎(名古屋大学)、鷲見宏明、大場真、長谷川泰洋、米倉佑亮
4	10:40-11:00 (キャンセル)	「地域スケールの生態系サービスの広域評価：名古屋市の事例」○鈴木孝拓(名古屋大学)、大場真、林希一郎

第二会場 総合校舎D号館22教室

研究報告セッション4「制度(2)自治体」座長：梶谷修(座長補佐：錦澤滋雄)

1	9:40-10:00	「地方自治体における計画段階環境配慮書手続の導入について」○後藤和也(環境省環境影響評価課)、上杉哲郎、伊藤隆晃、中村祥
2	10:00-10:20	「法改正に伴う条例アセス改正後の手続き制度の調査・研究」○森本尚弘(株)オリエンタルコンサルタンツ)、沖山文敏、青木博、石崎伸次、伊藤浩、田村大、湯浅晃一
3	10:20-10:40	「自治体環境影響評価条例の改正の最新動向と課題」○田中充(法政大学)
4	10:40-11:00	「地方自治体による契約事業者への戦略的環境マネジメント～公契約の環境配慮要請の現状から」○山本芳華(摂南大学)

第一会場 総合校舎D号館21教室

研究報告セッション5「技術(3)評価技術」座長：嶋田啓二(座長補佐：佐藤律子)

1	11:10-11:30	「環境DNA分析の環境調査への活用」○大井和之(一財)九州環境管理協会)、大城戸博文、柴田幸次
2	11:30-11:50	「街路樹による日陰効果の評価と提案ー流山おおたかの森駅南口広場ー」○高岩知成(江戸川大学)、伊藤勝
3	11:50-12:10	「エコノートを用いた家庭のエネルギー使用の経年評価」○藤沼洋平(江戸川大学)、高岩知成、伊藤勝
4	12:10-12:30	「実測値データとクリギングによるセシウム137の陸上における沈着総量の予測」○沢野伸浩(金沢星稜大学)

第二会場 総合校舎D号館22教室

研究報告セッション6「制度(3)その他制度」座長：鹿島茂(座長補佐：田中亨)

1	11:10-11:30	「環境アセスメントにおけるリスクコミュニケーション」○石井修平(法政大学)
2	11:30-11:50	「オリンピックムーブメント・アジェンダ21と持続可能性アセスメントー新国立競技場計画を事例にー」○原科幸彦(千葉商科大学)、桑原洋一
3	11:50-12:10	「改正環境影響評価法下での評価書評釈の可能性について」○倉阪秀史(千葉大学)

第三会場 総合校舎D号館23教室

研究報告セッション7「事例研究」座長：沖山文敏(座長補佐：持木克之)

1	11:10-11:30	「養魚場跡地太陽光発電所に係る自主簡易アセスの実施」○傘木宏夫(NPO地域づくり工房)
2	11:30-11:50	「環境アセスメントにおける医療施設の取扱い(ケーススタディ)」○上田健二(環境省環境安全課)
3	11:50-12:10	「自主的な環境調査と公共事業評価の手続き関係の一考察ー鳥取県、岡山県の道路事業計画を事例にー」○杉本卓也(千葉商科大学)

ポスターセッション

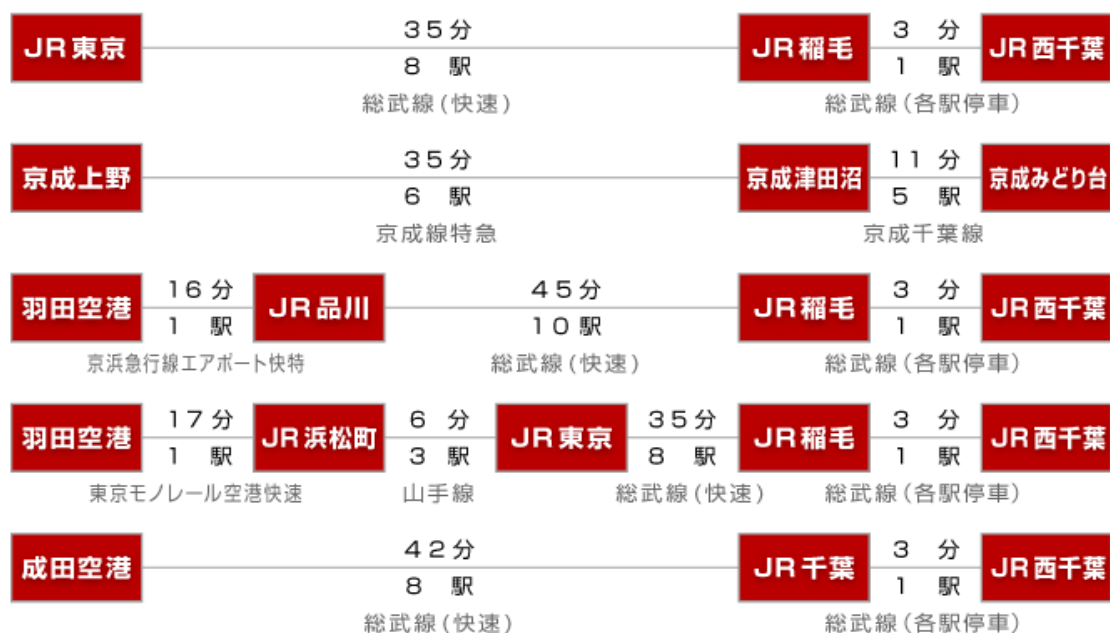
大会1日目（ 9月20日（土） 11:20-12:50 ）

総合校舎B号館外 ポスター会場

※「若手部門」は優秀ポスター賞の候補となります。

1	「『持続可能性アセスメント』の出版」○柴田裕希（東邦大学）	一般部門
2	「赤土はいつ、どこから来たのか？ ～閉鎖性内湾での堆積メカニズム解明の事例紹介～」 ○小林努（株）東京久栄）、浄土真佐実、矢代幸太郎	一般部門
3	「サンゴ群集はいつ、どこで白化したのか？ ～閉鎖性内湾でのサンゴ群集動態解明の事例紹介～」○矢代幸太郎（株）東京久栄）、田中亮三	一般部門
4	「国道44号を対象とした野生動物の飛び出しによる潜在的危険地点の抽出と分析」○伊東英幸（日本大学）、福田敦	一般部門
5	「Environmental Impact Assessment (EIA) in Thailand -Sectorial and Regional Trend -」 ○Kultip Suwanteep（東京工業大学◎）、村山武彦、錦澤滋雄	若手部門
6	「都市圏における供給サービス ～その供給実態及び要因」○長谷川泰洋（名古屋大学）、林希一郎	若手部門
7	「『環境影響評価公衆参加暫定規則』の実施以降の中国の環境アセスメントにおける住民参加の考察」○金昌成（広島大学◎）	若手部門
8	「Analysis of EIA System and Projects in China」○Jiaynig Xu（東京工業大学◎）、村山武彦、錦澤滋雄	若手部門
9	「静脈産業の技術移転における問題点の把握とその対応策に関する研究～中国大連庄河市をモデルとした生活ごみRDF 化事業のライフサイクル評価～」○郭奕賢（早稲田大学◎）、胡浩、小野田弘士	若手部門
10	「カテゴリ重要度の推定法の高度化と中国における環境負荷総合化指標の開発に関する研究」○刘师颯（早稲田大学◎）、胡浩、小野田弘士	若手部門
11	「日本型生物多様性バンキング”里山バンキング”の運営費用に関する研究」○小島雅史（東京都市大学◎）、田中章	若手部門

西千葉キャンパスへの交通



- ・ JR西千葉駅より西千葉キャンパス南門まで徒歩約2分、総合校舎まで徒歩約8分
- ・ 京成みどり台駅より西千葉キャンパス正門まで徒歩約7分、総合校舎まで徒歩約10分

